

研 修 報 告 書

令和 7 年 3 月 17 日

長浜市議会議長 様

長浜市議会議員 鋒山紀子

私が出席した次の研修の結果について報告します。

記

1. 研修名 地方議員研究会セミナー
2. 研修日時 令和 7 年 2 月 12 日(水)～ 月 日()
3. 研修場所 京都市南区東九条 京都 JA ビル
4. 研修テーマ 自治体病院の基礎と課題
5. 講師 城西大学経営学部教授 井関友伸
6. 調査内容感想等

・研修の目的

病院事業会計から見る、自治体病院の基礎と課題を本市に係る観点から
学ぶため

・研修の内容

自治体病院は専門性が高く、分かりにくい。病院も自治体本体も病院経営に
ついて不勉強であることが多い。議員が勉強して健全な発言をすることが必要
である。コロナ補助金がなくなり人手不足、人件費増加もありほとんどの自治
体病院は急激に収益悪化している。地方の自治体病院の評価軸として考える点
地方交付税措置を前提に一定質の医療提供をしているか。持続可能性が重要

長 浜 市 議 会

- ・研修の結果を本市にどのように反映させるか

国の考え方として、地域医療において自治体病院は必要であり、持続可能な医療提供体制を確保する見地から「経営強化」の用語がガイドラインに使われた。
本市、病院事業が取り組む「再建」経営強化は重要課題である。本セミナーで講師が述べられた、限られた医師・看護師等の医療資源を地域全体で最大限効率的に活用するという視点、公立病院が担うべき役割・機能を改めて見直し明確化・最適化した上で病院間の連携強化を進めていくことが必要とは示唆に富んだ話であった。自治体病院の目的は良い医療、相対的に安価で効率的な医療を行うこと、財務の改善自体が目的ではない、しかしながら一方で良好な財務がなければ良い医療はできない、この両方を両立させることが重要となる。
市立 2 病院は地域の生命線である、置かれた状況から時間的な猶予はあまりない。まずは「再建」に市当局も病院事業もまた議会も知恵を使って進めなければいけないと感じた。
